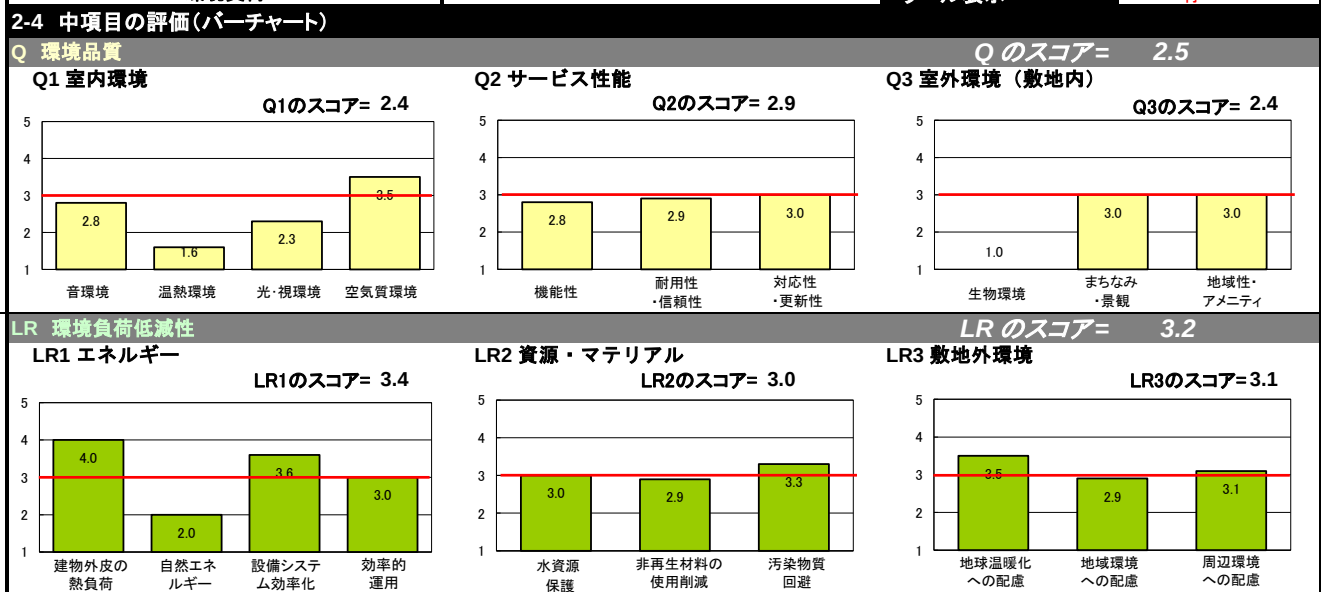
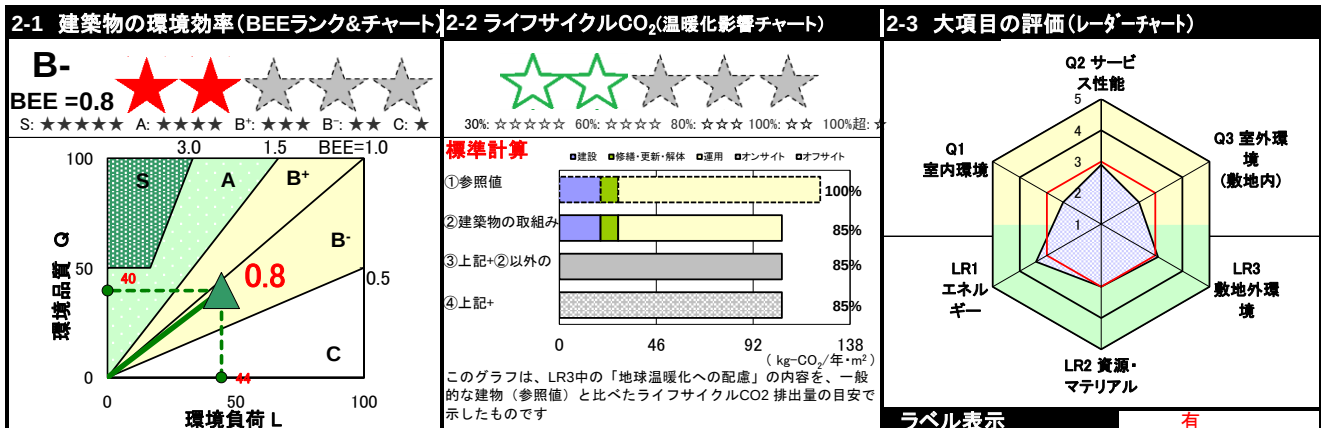




建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)大阪市西区新町4丁目マンション計画	
建設地	西区新町4丁目	
建築用途	店舗付共同住宅	
建築主		
設計者		
敷地面積	594.85 m ²	
建築面積	294.94 m ²	
延床面積	2,749.43 m ²	
構造/階数	RC造 / 地上12階	
完了年(予定)	2021年11月	



3 設計上の配慮事項		
総合 断熱性の高い資材等を採用し、熱負荷の低減を図る。		その他 特に無し
Q1 室内環境 内装仕上げにF☆☆☆☆の建築材料を使用し、シックハウス対策等、居住者の快適性に配慮している。	Q2 サービス性能 各種設備の配管は耐用年数の高い材質を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 外構に緑地を複数箇所設け、敷地内温熱環境の向上に配慮する。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費量を抑えるために、潜熱回収型給湯器、LED照明等を採用する。	LR2 資源・マテリアル 環境負荷の少ない発泡剤を採用する。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わない。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.8

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.5
配慮事項	ライフサイクルCO2排出量の抑制を図る。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	敷地内に適切な緑地を確保する。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0
配慮事項	品確法「5-1断熱等性能等級」における等級4相当をクリア

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.6
配慮事項	潜熱回収型給湯器、LED照明等の採用

省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況	適合
------------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]
外皮性能	等級4 (相当)	-
	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]
一次エネルギー消費量	0.94	0.94
		非住宅部分[BEI][BEI _m]
		-

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ (36) m ☐ 地上部 (☐ 空地部分 ☐ その他) ☐ 壁面 ☐ その他 ()																				
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位</td> <td>()</td> <td>高さ(約) m</td> <td>水平距離(約) m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>()</td> <td>高さ(約) m</td> <td>水平距離(約) m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>()</td> <td>高さ(約) m</td> <td>水平距離(約) m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>()</td> <td>高さ(約) m</td> <td>水平距離(約) m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>()</td> <td>高さ(約) m</td> <td>水平距離(約) m</td> </tr> </table>	方位	()	高さ(約) m	水平距離(約) m	方位	()	高さ(約) m	水平距離(約) m	方位	()	高さ(約) m	水平距離(約) m	方位	()	高さ(約) m	水平距離(約) m	方位	()	高さ(約) m	水平距離(約) m
方位	()	高さ(約) m	水平距離(約) m																		
方位	()	高さ(約) m	水平距離(約) m																		
方位	()	高さ(約) m	水平距離(約) m																		
方位	()	高さ(約) m	水平距離(約) m																		
方位	()	高さ(約) m	水平距離(約) m																		
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分																				

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	(122.1) m ² 方位 (真南) 設置角度 (30) 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	(48.8) m ²
ウ 設置可能容量	(7.3) kW
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり (例：設備用基礎の設置) ()

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する → 具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他 ()

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	() m ²
イ 発電容量	() kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討																
① 周辺環境の把握																
② 日照条件の検討																
ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 36 ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> </table>	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
方位（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m														
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分															
③ 熱需要の条件等の検討																
ア 建築物の用途	店舗付共同住宅															
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☒ 給湯 ☐ その他（ ）															
ウ 設置可能面積	（ 122.1 ） m ²															
エ 概算年間熱利用量	（ 265,725 ） MJ/年															
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし															
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）															
④ 導入判断																
検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 ☒ 導入しない																
導入を見送る理由（複数選択可） ☐ 日照が確保できない ☐ 年間を通じて安定した熱需要がない ☐ 躯体が荷重に対応できていない ☐ 敷地内に設置する場所を確保できない ☒ 費用負担が大きい ☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする ☐ その他（ ）																
2 導入する設備の概要																
ア 集熱パネル面積	（ ） m ²															
イ 概算年間熱利用量	（ ） MJ/年															
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）															
備考																